

あなたの「命・暮らし・人権」は守られているか？！

——国家情報会議設置法の成立と憲法の危機を問う

社会民主党副党首・熊本県連合副代表

橋村りかが訴え



梅雨の晴れ間となった6月11日の朝、益城町の総領交差点付近。通勤・通学で行き交う多くの市民に向け、マイクを握る社会民主党副党首・橋村りかの力強い声が響いた。橋村副党首は、5月末に成立した「国家情報会議設置法」への強い危機感を表明し、今こそ日本国憲法が保障する「基本的人権」の原点に立ち返るべきだと熱く訴えかけた。

▽市民を監視する社会への足がかり

「国家情報会議設置法」

橋村副党首はまず、5月末に可決・成立した「国家情報会議設置法」について言及した。「海外への情報流出を防ぐという建前のもとで進められた法律ですが、本当に私たちの命や暮らし、人権は守られるのでしょうか」と市民に問いかけた。過去の裁判において、公安警察による市民情報の取得や盗聴、監視カメラの設置、民間事業者への情報提供などが「違法」と判決されてきた歴史を振り返り、「この法律は、これまで違法とされてきた国家による市民の監視や情報奪取を、合法化していく足がかりになりかねない恐ろしいもの」と指摘。「81年前の太平洋戦争時、私たちの先輩方が苦しみ抜いたあの監視社会と同じことが、いま再び起きようとしています。あなたの人権や尊厳は本当に守られてい

るのか、もう一度立ち戻って考え、声を上げなければなりません」と、法案の危険性を分かりやすく解き明かした。

▽「役に立つかどうか」で

命を選別する社会への違和感

続けて橋村副党首は、自身の障害を持つ娘との歩みを振り返りながら、現代社会が進める「人間性の選別」に鋭く切り込んだ。娘が地域の学校に通う際、当初は「通う権利があるのだろうか」と悩んだという橋村氏。しかし、地域の仲間と共に生きる娘の姿を通じ、「私たちには生まれながらにして一人の人間として大切にされる権利がある。学校という小さな社会から、子どもたちは自ら社会を作っていく権利を持っている」と確信したという。

しかし現在の教育や社会の動向は、それとは逆の方向へ向かっていると懸念を示す。「『能力があるから地域の学校に行っている』『あなたはこれを選びなさい』という条件付けは、言い換えれば『あなたが社会に役に立つ人間かどうか、稼げる人間かどうか』で人間の価値を測っているようなものです。子どもたちを経済的な『人材』としてしか見ない社会でいいのでしょうか」と、国公立大学で一部の産業に特化した「半導体学部」などが新設される風潮を批判。大学4年生になる娘が漏らした「大学は生きることを豊かにするために学ぶ場所ではないの？」という言葉を紹介し、知識や技術だけで人間を判断する社会の冷徹さに警鐘を鳴らした。



▽あなたが生きていること、
それ自体が社会の希望

「あなたがここに生きていること、今日があること、生まれてきてくれたこと。それ自体がこの社会の希望なんです。それを伝えていくことこそが政治の役割であり、責任です」橋村副党首は、人の命を奪う武器の輸出を「トップセールス」と称する現政権の姿勢を「情けない国、落ちぶれた国にしてはならない」と強く批判。経済活動のために命を犠牲にすることを断固拒否し、「身近な人の命も、見えない場所にいる人の命も、外国の人の命も、すべて大切だと子どもたちに伝えていく責任が私たちにはある」と訴えた。



▽失われそうなものが、
すべて憲法の中にある

演説の終盤、橋村氏は日本国憲法の重要性を改めて強調した。「この社会が失いつつになっている大切なものは、すべて憲法の中にあります。私たちの命と暮らし、そして平和を守り続けてきたのは、この憲法です」本来は国家権力を縛るべきものである憲法を、時の政権が都合よく変えようとしている現状に対し、「簡単に変えさせてはならない。戦争へ向かう社会を止め、誰の命も奪わせない、失いたくないという思いを共に形にしていきましょう」と呼びかけた。

最後は、毎週木曜日に同場所で行っている街頭演説に、党派を超えて、また個人で集まり思いを共にしてくれる市民への深い感謝の言葉で結んだ。

「今日は梅雨の晴れ間の爽やかな一日です。どうぞ皆様、今日も健やかに過ごしてください」清々しい挨拶とともに、益城町の朝の街頭演説を終えた。

戦争へ向かう社会を止め、
誰の命も奪わせない、
失いたくないという思いを
共に形にしていきましょう



橋村 りか（はしむら・りか）
▼ 社会民主党副党首 / 熊本県連合副代表
▼ 生年月日：1972年4月27日生まれ
▼ 熊本市出身。熊本大学法学部卒。
▼ 経歴：障害を持つ長女の地域での子育て・インクルーシブ教育の権利を求める闘いを原点に、誰もが排除されない社会を目指して地域活動を展開。放課後児童支援員。2026年4月の社民党第21回定期全国大会にて副党首に選出。